

# 性能を新品同様に復活

## タイヤ表面再生

いつまでも続く暖かさのために全道的に遅れていた、夏タイヤからスタッドレスタイヤへの履き替え作業が、そろそろ本番を迎えようとしている。タイヤ表面再生研磨加工機「けんま君」が活躍するシーズンの到来だ。

磨耗して滑るようになったスタッドレスタイヤの性能を新品同様に復活させることのできる「けんま君」については、今年3月3日付北海道版のこの欄で一度紹介した。しかし、スタッドレスタイヤがそろそろお役ご免になる春間近というタイミングでの掲載で、読者の関心をあまり引かなかったかもしれない。

現在、特許出願中の「けんま君」は、道内有数のインキュベーション施設、旭川リサーチセンターに本社を置くイー・アイ・エス（松井隆社長）が、2004年度のふるさと財団の補助金を受けて第1号機を開発。昨シーズンは今年1月から旭川市内の自動車用品店で実験的に有料サービスを実施したが、古くなったタイヤを研磨したユーザーは、「制動距離が短くなった」「横滑りがしにくくなった」など、ほとんどが

その効果を認めている。

実験を引き受けた自動車用品店でも「けんま君」の性能を評価し、親会社が経営する旭川、帯広、釧路の3カ所のSSに今シーズンから導入することを決めた。洗車が振るわない冬期における油外収益の柱にする考えのようだ。

開発した松井社長は見るからに技術者タイプで「営業は苦手」。営業先で「性能を裏付けるデータでもあるのか」と言われると返答に困るので、つくば市にある独立行政法人「産業技術総合研究所」に第1号機を送り、性能実験を受けている。データは来年中に出る予定だが、それを持って本格的な営業を開始するという。

研 究 者 の 問 答  
研 究 者 の 問 答  
研 究 者 の 問 答

表面が磨耗したり、劣化したタイヤを研磨ベルトで削ることで、元来そのタイヤが持っていた最高性能を再び引き出すことができるのが「けんま君」の最大の特長だが、その詳細は松井社長が心を込めて作成した同社のホームページで確かめてほしい。

# 新収益創造力

■Vol.420■



研 究 者 の 問 答  
研 究 者 の 問 答  
研 究 者 の 問 答

表面が磨耗したり、劣化したタイヤを研磨ベルトで削ることで、元来そのタイヤが持っていた最高性能を再び引き出すことができるのが「けんま君」の最大の特長だが、その詳細は松井社長が心を込めて作成した同社のホームページで確かめてほしい。